

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		利根沼田子ども発達支援センターリズム				公表日	令和7年 3月 24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		訪問支援員の就業時間と報告書等の作成も加味して担当児数を調整を考えます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	・ケースに関しては、目標設定と振り返りを行なっているが、業務改善については、十分できていないと感じる。	モニタリング、訪問施設からの意見をもとに、訪問支援員と児童発達支援管理責任者との共同で振り返りを行います。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		1	無回答2 ・今年度から実施のため保護者の意向等の把握やその内容を業務改善につなげることができていない。	今年度より実施の系統的・包括的な保護者の評価を有効に生かしていきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		無回答2	訪問支援員と管理者・児童発達支援管理責任者との業務について振り返りを実施したい。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	無回答2	いわゆる第三者評価は実施していないが、今の段階では訪問施設・相談支援専門員からの意見を生かしていきたい。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	2		訪問支援員にも法人主催の研修への参加機会を設けていきます。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			今後も継続していきます。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			今後も継続していきます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			今後も継続していきます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			今後も継続していきます。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			今後も継続していきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			今後も継続していきます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			今後も継続していきます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	・訪問支援員と関係機関とは、できている。(保育所・子ども園・小学校)	訪問支援員と児童発達支援管理責任者で事前打ち合わせすることを必ず行います。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	・関係機関とは、カンファレンスを実施している。(保育所・子ども園・学校)	訪問支援員と児童発達支援管理責任者で訪問後短時間でも打ち合わせをしていきます。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			今後も継続していきます。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			今後も継続していきます。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			今後も継続していきます。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			今後も継続していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			今後も継続していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			今後も継続していきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	2		・外部研修等は、個人で参加している。 訪問支援に関わる研修または各訪問支援員が必要とする研修への参加を促します。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	2		協議会への参加は継続していきます。また、地域への提案事項の報告をしています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			今後も継続していきます。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3		市町村保健師よりペアレント・トレーニング等の情報提供がなされている。 個別の家族支援やモニタリングの機会がよい機会と考えています。今後、家族のニーズを探り、他の研修・情報提供の内容・方法があるか検討します。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			今後も継続していきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			今後も継続していきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			今後も継続していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			今後も継続していきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			今後も継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		3		現在のところ本事業職員数や就業時間の関係で事業の中に入れていくのは難しいと考えています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			今後も継続していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2		無回答 1 本事業利用の保護者へは面談か電話での連絡が主でした。不足している部分や必要でより有効な情報発信の方法を検討します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			今後も継続していきます。
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			今後も継続していきます。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			今後も継続していきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			今後も継続していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			今後も継続していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			今後も継続していきます。

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			今後も継続していきます。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		無回答 1	訪問支援員にもミーティング時に各種マニュアルについて共有します。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		無回答 1	訪問支援員も安全計画について共有する機会を作ります。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		無回答 1	児童発達支援職員と情報共有をしています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			今後も継続していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			無回答 3	本事業は、身体拘束にならないような支援方法を利用施設に提案が重要です。訪問支援で身体拘束と関わる場合は計画書に明記します。